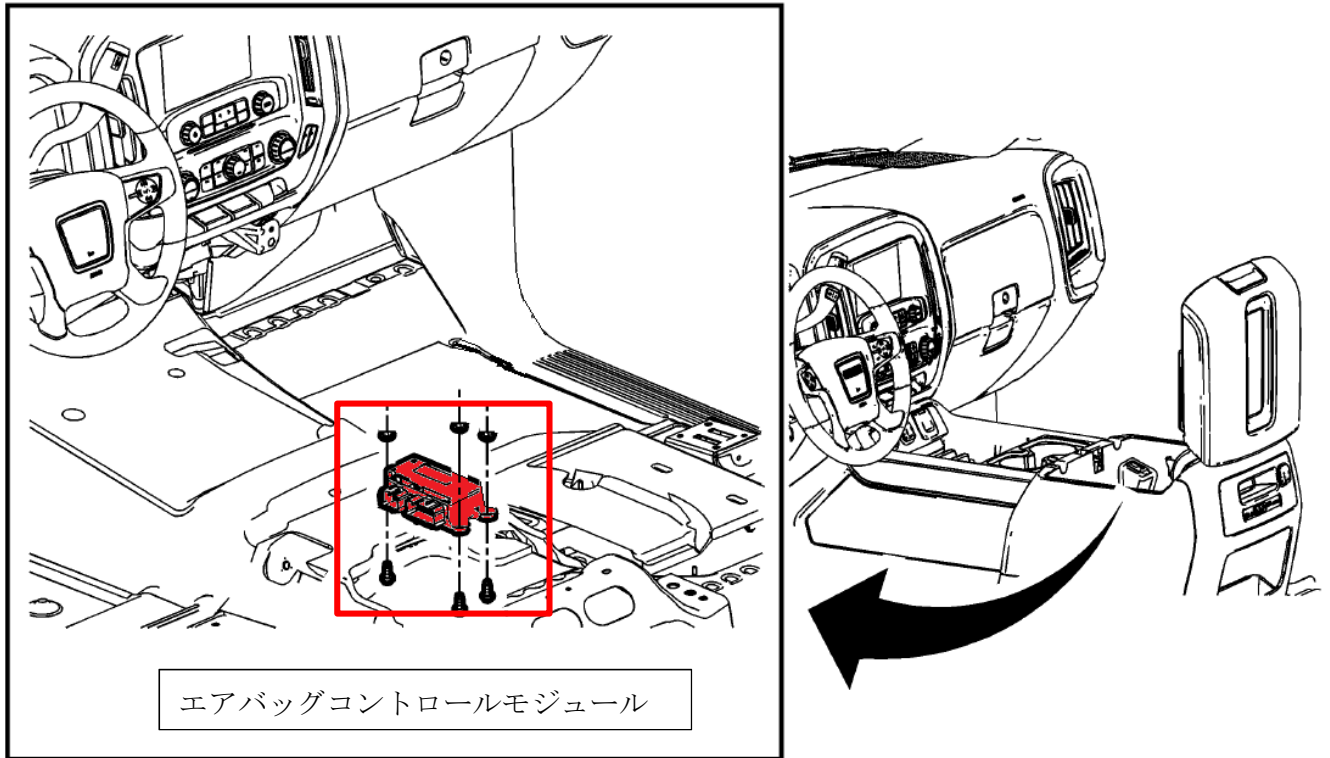



不具合箇所説明図



 は改善箇所を示す

<不具合の状況>

エアバッグコントロールモジュールのプログラムが不適切なため、縁石を乗り越えた際などの振動で当該モジュールの故障診断機能が作動を始め、そのまま作動し続けることがある。そのため、衝突時にフロントエアバッグ及びプリテンショナーを作動するための信号が送信されず、フロントエアバッグ及びプリテンショナーが作動せず、乗員が過度の障害を負おうおそれがある。

<改善内容>

全車両、エアバッグコントロールモジュールを対策プログラムに書き換える。または、対策プログラムが入った新品のエアバッグコントロールモジュールに交換する。

<識別方法>

左ボディストラクチャー部分に青色ペイントを塗布する。